

2023年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース	
ベーシックレッスン2	
第4回	歌うために必要な声帯、声帯周りの筋肉の動かし方を学ぶ(4) チェストボイスからヘッドボイスまでひっくり返らずに発声できる。
第5回	表現力があるアーティストを知る(1) アーティストの楽曲を聞き、声の特徴、どのような表現方法を使っているか分析する。
第6回	表現力があるアーティストを知る(2) アーティストの楽曲を聞き、声の特徴、どのような表現方法を使っているか分析する。
第7回	広い音域で歌うアーティストを知る(1) テクニック（発声）の練習方法がわかる。
第8回	広い音域で歌うアーティストを知る(2) テクニック（発声）の練習方法がわかる。
第9回	共鳴、発音(3) 前期で学んだ共鳴ポジションを習得し、共鳴ポジションでの ヴォイストレーニングを行う。
第10回	共鳴、発音(4) 子音、母音、習得した共鳴ポジションを使って声の響きを増幅させることを習得する。
第11回	音域拡大のメソッドを学ぶ(3) 長期的な声のトレーニング法がわかる。個々のヴォイストレーニングのルーティンを製作することが出来る。
第12回	音域拡大のメソッドを学ぶ(4) 長期的な声のトレーニング法がわかる。個々のヴォイストレーニングのルーティンを製作することが出来る。
第13回	復習(2) 前期後期のトレーニングを復習し、ここまでの成果を理解出来る。
第14回	復習(3) 前期後期のトレーニングを復習し、ここまでの成果を理解出来る。
第15回	期末試験

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース											
ベーシックレッスン2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	平山雅月・早川咲			実務 経験	有	職種	ミュージシャン、ボイストレーナー				
授業概要											
基礎作りにより自分の声の特性を理解した上であらゆるジャンルと現場に適用できる実践力となるボーカリストを育成する。また現代のボーカリストはライブのみならず様々な発表の環境と録音環境に対応できる心構えを習得する。											
到達目標											
どんなジャンルでも歌いこなせるような音程のコントロール、ビブラートやしゃくり、フォールダウンなどの基礎的なテクニックの習得する。本番環境でも安定した歌を歌えるようなメンタルを養う。											
授業方法											
カラオケや講師のピアノ演奏を用いて課題曲を練習し必要となるテクニックや発声方法を身につけていく。□											
成績評価方法											
1 4回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時、講師より教材を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	前期の振り返り										
第2回	課題曲「花束のかわりにメロディーを」を使って、出だし音、フレーズのおさめ方のパターンを学ぶ										
第3回	課題曲「花束のかわりにメロディーを」を使って、ブレスのトレーニング（ブレスの種類、ブレスの位置を学ぶ）										

2023年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース	
ベーシックレッスン2	
第4回	課題曲を「花束のかわりにメロディーを」使って、しゃくり、フォールダウン、エッジボイス、ウィスパーボイスの体感する
第5回	課題曲「I'm Free」を使って、リズムコントロールのためのリズムトレーニング
第6回	ワンフレーズテクニックのチェックテスト（しゃくり、フォールダウン、エッジボイス、ウィスパーボイス）
第7回	課題曲「I'm Free」を使って、ダイナミクスのコントロールを体得する
第8回	課題曲「I'm Free」を使って、声門アタック、息抜きのテクニックとのトレーニング
第9回	課題曲「A Whole New Word」を使って、リズム取りの声門アタックテクニックを学ぶ（アフターで歌う、食い気味に歌う）
第10回	課題曲「A Whole New Word」を使って、洋楽の発音のパターンを学ぶ
第11回	課題曲「A Whole New Word」を使って、ミドルヴォイスからヘッドヴォイスへの切り替え方法を学ぶ。
第12回	課題曲「A Whole New Word」を使って、声に表情をつけるトレーニング
第13回	選曲した課題曲を講師が演奏するピアノ伴奏で練習する。
第14回	授業内発表
第15回	後期のまとめ

2023年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース	
ベーシックレッスン2	
第4回	パートに分かれて不確かだった部分を確認して練習する。
第5回	各パート毎に歌唱発表する。
第6回	チーム分けを行う。
第7回	シンコペーションやタイ、給付などの違いを意識させて練習する。
第8回	曲に対してチーム内でアナライズさせる。
第9回	中間発表する。
第10回	声色を学ぶ。
第11回	ビブラートやしゃくり、フォールなどテクニックの種類を学ぶ。
第12回	パフォーマンスを学ぶ。
第13回	各チームで最終練習。
第14回	授業内発表
第15回	後期、全体まとめ

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース											
ベーシックレッスン2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	平山雅月			実務経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
バンドアンサンブルでの合唱歌唱。生演奏で合唱することで、より安定した声量で歌えるよう喉を鍛えリズム感を学ぶものである。											
到達目標											
個々が好き勝手に歌う事ではなく個性を抑えつつ他者と協力し合いながら共に一つの楽曲を作り上げる事である。その上でダイナミクスや声質、ウィスパーヴォイスや発音等の声質を考え、プレイヤーと作り上げ、課題曲を授業内で披露する事を到達目標とする。											
授業方法											
課題曲を通して創造力を養いつつ意見交換をしながらバンドアンサンブルならではの楽曲を完成させる。											
成績評価方法											
1 4回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時、講師より教材を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	前期復習										
第2回	バンドアンサンブルで歌う。(各パート音をしっかり確認する)										
第3回	バンドアンサンブルで歌う。(前奏、間奏、アウトロー等構想をしっかりと覚える)										

2023年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース	
ベーシックレッスン2	
第4回	バンドアンサンブルで歌う。（ダイナミクスを意識）
第5回	バンドアンサンブルで歌う。（スタッカート、タイ、リズムキープ）
第6回	バンドアンサンブルで歌う。（パフォーマンス）
第7回	バンドアンサンブルで歌う。（各パート音をしっかり確認する）
第8回	バンドアンサンブルで歌う。（前奏、間奏、アウトロー等構想をしっかりと覚える）
第9回	バンドアンサンブルで歌う。（ダイナミクスを意識）
第10回	バンドアンサンブルで歌う。（スタッカート、タイ、リズムキープ）
第11回	バンドアンサンブルで歌う。（パフォーマンス）
第12回	バンドアンサンブルで歌う（16分のリズムトレーニング）
第13回	バンドアンサンブルで歌う。（リハーサル）
第14回	授業内発表
第15回	後期のまとめ